



たまいりさ
玉井里沙さん
明石市役所職員

姫路市出身。学校教育学部芸術系コース(美術)を経て、大学院修士課程文化表現系教育コース芸術系教育分野(美術)に進学。在学中に円妙寺本堂の天井画の原画を手掛ける。平成26(2014)年に修了し、現在は明石市職員として勤務。



→ 繊細で彩度の高い色使いを意識しました

自分らしさを見つめて 人生をより鮮やかに

巡 鳥、龍。大学院生の時に描かせていただいた加東市社にある円妙寺の天井画は、私の生涯に残る大作となりました。当初はどう描いていいのか分からず悩みましたが、赤松俊彦住職の「玉井さんにしか描けない絵を描いてください」という言葉は肩の荷を軽くするだけでなく、「自分らしさとは何か」を考えることにもなりました。そこで気付いたのは、自分に厳しく妥協しない、でも楽しむことも忘れない自らの姿

でした。生き方を見つめ、自分しかできない、自分がすべきことを結果につなげたものが天井画の完成でしたが、これは誰にでも、どの分野にも言えると思います。経験は後に生き力となり、人生をより豊かなものにします。これから夢をかなえていく皆さんも、自分らしさを見つめてみてください。必ず積み重ねてきたものが味方し、自分だけの色で人生を鮮やかに描くことができます。思います。



こしまてつひろ
小島鉄弘さん
兵庫県教育委員会播磨東教育事務所
教育振興課指導主事兼社会教育主事

養父市出身。平成6(1994)年学校教育学部社会系専修コースを卒業後、現朝来市内の小学校に勤務。途中3年間、朝来市派遣社会教育主事として行政を経験し、今年度から現職。



→ 社会教育について市町の教育委員会の皆さんと情報交換

地域の教育力で 学校教育を豊かに

教 育委員会で、主に社会教育や社会スポーツ関係の事務を担当し、学校教育関係者以外のたくさんの方々とも関わり充実した毎日を送っています。この職に就いたきっかけは、社会教育主事として3年間、朝来市教育委員会に派遣されたことでした。地域住民の生涯学習や地域スポーツを担当し、学校では出会う機会のない人と話したり、できない体験をしたりしました。多様な人たちが多様な考えを持って活動している姿に接

し、地域住民としての自分自身の成長の必要性を感じました。「地域の教育力」の一員になるべく、地元の小学生バレーボールチームの指導を始めたのもこのためです。近年は、学校と家庭・地域の連携が重要になっています。「地域の教育力」は学校教育を豊かにしてくれます。在学生の皆さんには、地域行事に積極的に関わっていくことはもちろん、自分自身も「地域の教育力」を担える教員になってほしいと思います。

▶ 同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

大学院同窓会会員と大学教員との共同研究の申請(募集要項を一部変更しています)

大学院修了生と大学教員とが共同で取り組む研究の中から、特に学校現場の課題解決や大学の実践的な教育研究の進展に役立つものを選び、研究経費の一部を補助します。平成27(2015)年度は12件を採択しました。なお、今回から募集要項を一部変更し、幅広く申請ができるようにしています。

◎申請締め切り 4月30日(土)まで

詳細はHyokyo-net▶都道府県連携推進本部をご確認ください

教育実践研究活動等に係る表彰者の推薦(実施要項を一部変更しています)

大学院同窓会では教育実践研究に顕著な成果を挙げた修了生を表彰しています。今年度も受賞にふさわしい修了生の推薦を受け付けています。今年8月の同窓会大阪大会(大阪市)で表彰式を行い、学長・同窓会長連名の表彰状を授与します。なお、今回から実施要項を一部変更し、幅広く推薦ができるようにしています。

◎推薦締め切り 3月31日(土)まで